

事務事業評価表（一般事業）

令和  年度

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-1 家庭教育推進事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	小澤 拓也
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類
	総合計画上の施策名	8 家庭・地域における青少年教育の充実・支援	
	施策名(評価単位)	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進	

2. 事務事業の目的	乳幼児・児童の保護者を対象に家庭教育の学習機会を設け、家庭での子どもの教育を充実します。
------------	--

3. 事務事業の実績	<p>(1) 事業の実施内容(令和元年度)</p> <p>○乳幼児家庭教育学級を開催しました。 年に10回、0～3歳の未就園児をもつ保護者を対象に、子育てについて自らテーマをもって学習する「たんぼ学級」の学習会を開催しました。 ○市内5小学校、2中学校、1園の家庭教育学級への支援を行いました。 各校・園に家庭教育学級の事業委託として、それぞれ3万円の補助金を交付しました。</p>
------------	---

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込	
① 直接事業費	398,751	393,276	373,559	401,000	
② 人件費	4,080,000	2,925,000	2,925,000	2,100,000	
③ 合計コスト ①+②	4,478,751	3,318,276	3,298,559	2,501,000	
前年度比 (%)		74.1%	99.4%	75.8%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	9,500	10,700	6,900	7,000
	一般財源	4,469,251	3,307,576	3,291,659	2,494,000
④ 活動一単位当たりコスト	63,982.2	46,087.2	46,458.6	35,728.6	
前年度比 (%)		72.0%	100.8%	76.9%	
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	令和2年度：業務量の見直しにより減少見込です				

(3) 活動指標	指標名	開催回数				単位:	回
	指標説明	家庭教育学級の開催回数					
	実績値	70	72	71	70		

(4) 成果指標	指標名	家庭教育学級の学級生参加率				単位:	%	評価:	+
	指標説明	家庭教育学級学習会(たんぼ学級)参加者/学級生数(令和元年度実績より指標見直し)							
	目標値の設定方針	各家庭教育学級生の7割の参加率を目指します。							
	実績値	81.5	100	69.5					
	達成度 (%)	116.4%	133.3%	99.3%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	<p>乳幼児学級では学級生(保護者)に重点を置いた学習会を開催しており、学級生にとって有意義な家庭教育学級が行われています。学級生の数の減少、学習内容のマンネリ化等を防ぐために、学級生の意見を取り入れた内容や学級生自身が講師となって指導する等の工夫をしています。家庭教育学級については、各学校・幼稚園で様々な活動が行われており、特に近年では長期休暇期間に家庭でルール作りなどをし、実践する在宅取組がほとんどの学校で定着しつつあります。</p>
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成2年4月
<p>市内各校・園に他校・他市の家庭教育学級の情報の提供。家庭での在宅取組を促進することで家庭教育を日常に普及させていきます。また、家庭教育学級の説明会や、美濃地区でのリーダー研修会を実施し、家庭教育への意識付けと推進を行います。乳幼児学級では学級生が育児について学ぶだけでなく、学級生自身も何か成長できるように、自主的な運営を推進していきます。学級生の意見を参考に、みんなで楽しく学び、家庭で実践できるようにしていきます。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	西村 斎
<p>当事業は子育て世代からの評価も高く、今後も継続していく必要があります。家庭教育学級の参加者数・参加率を上げるために、積極的な情報収集を行い、各学級への情報提供を行います。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和  年度

1. 事務事業の概要

事務事業名	53-2 青少年健全育成事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	平野 一彦
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類 2児童・青少年
	総合計画上の施策名	8 家庭・地域における青少年教育の充実・支援	
	施策名(評価単位)	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進	

2. 事務事業の目的

「大人が変われば、子どもが変わる」をスローガンにして、青少年の健全な育成を図ります。

3. 事務事業の実績

(1) 事業の実施内容(令和元年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の小・中・高校生の代表11名による「わたしの主張美濃市大会」を開催しました。</li> <li>7月の青少年非行・被害防止全国強調月間に合わせ、夏休みに向けて講演会「親子・地域で絆づくり」等「連合PTA研究大会&amp;青少年健全育成を考えるつどい」を開催しました。</li> <li>青少年育成「市民のつどい」を開催し、市民を対象にした善行表彰、「輝け！美濃の子どもたち～地域でつなぐこころの和～」をテーマに、講演会「新しい時代を自分らしく生きる」、美濃中学校吹奏楽・3年生による合唱や土岐町フレンドシップ交流事業発表等を交え、感性豊かで健全な心身の育成を図ることとし実施しました。</li> <li>少年補導センターによる街頭補導、非行防止活動、子ども会育成協議会、JLC活動の支援を実施しました。</li> </ul>
--------------------	---

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込
① 直接事業費	1,270,204	1,240,136	1,218,850	1,321,000
② 人件費	8,080,000	6,375,000	6,375,000	6,225,000
③ 合計コスト ①+②	9,350,204	7,615,136	7,593,850	7,546,000
前年度比 (%)		81.4%	99.7%	99.4%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	9,350,204	7,615,136	7,593,850
④ 活動一単位当たりコスト	1,335,743.4	1,269,189.3	1,265,641.7	1,078,000.0
前年度比 (%)		95.0%	99.7%	85.2%
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	人づくり団体推進室にて、事務業務体制の見直し等により、改善を図りました。			

(3) 活動指標	指標名	青少年育成推進委員会の開催回数				単位:	回数
	指標説明	青少年育成事業を進める上で核となる組織の活動状況					
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込		
		7	6	6	7		

(4) 成果指標	指標名	子ども育成講演会及び市民のつどい出席者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	青少年育成事業のなかで中心的な行事の出席者の状況							
	目標値の設定方針	青少年健全育成を考えるつどい100人、市民のつどい500人以上の参加を目指します。							
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込				
	達成度 (%)	500	420	300	350	84.0%	60.0%	70.0%	

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）

評価 A

① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No	
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No	
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No	
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No	

5. 評価・課題

小・中学校の夏休みに向けて「青少年健全育成を考えるつどい」を連合PTA研究大会とを合同開催し、情報の交換・共有を図るとともに、青少年育成「市民のつどい」及び「わたしの主張大会」を青少年健全育成事業の三本の柱として、それを補完する形で少年補導センターや子ども会などの活動を行ってきました。市民団体や青少年の参加意識の高揚を図り、青少年参加型事業の定着化とともに、地域での青少年環境づくりへの貢献と、地域連携と情報の共有を図りました。

6. 具体的な改善内容

改善時期 令和2年6月

家庭、学校、市民団体、地域、警察と連携し、基本的な生活習慣や日常生活能力などを身につけ、困難を克服する力や他者の権利を尊重できる心が育まれるよう環境づくりを支援します。また、地域ボランティア、市民団体等と連携を図り、地域の伝統文化・行事により、青少年が主体的に地域づくりに参画できるよう、体験・経験を積む機会を充実していきます。

7. 事業の総合評価及び今後の方向性

所属長氏名 西村 斎

青少年の健全育成にかかわる教育・福祉分野などと連携を密にし、市民参加型の事業とし内容を充実させ、より良い青少年を健全に育成する仕組みづくりと組織改革を行い、住みよい環境づくりを充実させていきます。

今後の方向性 1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

令和  年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-3 勤労青少年ホーム施設管理事業	担当課	人づくり文化課	
		作成者	古田 志保	
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類	2児童・青少年
	総合計画上の施策名	8 家庭・地域における青少年教育の充実・支援		
	施策名(評価単位)	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	勤労青少年ホームを運営管理することにより勤労青少年の健全な育成と福祉増進を図ります。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和元年度)	定期利用団体によるアマチュアバンド、ダンス、太鼓練習などの利用がありました。また、定期利用団体以外で会議会場等としての使用がありました。 (開館日数235日)

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込	
① 直接事業費	2,181,302	1,868,193	1,641,703	3,259,000	
② 人件費	1,280,000	150,000	150,000	300,000	
③ 合計コスト ①+②	3,461,302	2,018,193	1,791,703	3,559,000	
前年度比 (%)		58.3%	88.8%	198.6%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	624,630	608,310	569,160	600,000
	一般財源	2,836,672	1,409,883	1,222,543	2,959,000
④ 活動一単位当たりコスト	4,512.8	2,557.9	2,853.0	5,649.2	
前年度比 (%)		56.7%	111.5%	198.0%	
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	令和2年度：直接事業費の見直しにより増額しています。 (施設管理経費予算の組み替え)				

(3) 活動指標	指標名	施設利用回数				単位:	回
	指標説明	各室の延べ利用回数					
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込		
		767	789	628	630		

(4) 成果指標	指標名	利用延べ人員				単位:	人	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績の102%以上							
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込				
	達成度 (%)	11,952	11,687	10,776	9,040				
	11,458	10,565	8,858						
	95.9%	90.4%	82.2%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	定期利用団体が継続的に利用し活発な活動が行われていますが、利用回数の減少等により利用者数は年々減少しています。特に令和元年度の利用者は大幅に減少しました。また、施設が老朽化しており、安心して利用していただける対策が必要です。
----------	--

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
施設の老朽化が顕著であるため、緊急性の高いものを改善します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	西村 斎
市民を含め多くの利用があります。 令和3年度には「美濃市健康文化交流センター」へ機能が統合され、施設は廃止となります。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

令和  年度

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-4 人権教育・啓発推進事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	小澤 拓也
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類 1学校教育
	総合計画上の施策名	49 人権同和教育の推進	
	施策名(評価単位)	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進	

2. 事務事業の目的	「美濃市人権教育・啓発の指針」に基づき、市民一人ひとりが人権に関するさまざまな課題について認識を深めるために、学校・地域・家庭・職場その他あらゆる場を通じて教育を行います。
------------	--

3. 事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権問題市民啓発講演会を開催しました。</li> <li>・地区公民館において、人権学習会を開催しました。</li> <li>・人権週間の活動を実施しました。</li> <li>・人権啓発講演会と「わたしのメッセージ展Ⅰ、Ⅱ」を開催しました。</li> <li>・人権問題交流会を2回開催しました。</li> </ul>
------------	--

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込
① 直接事業費	566,813	566,861	566,796	647,000
② 人件費	1,040,000	825,000	900,000	300,000
③ 合計コスト ①+②	1,606,813	1,391,861	1,466,796	947,000
前年度比 (%)		86.6%	105.4%	64.6%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,606,813	1,391,861	1,466,796
④ 活動一単位当たりコスト	321,362.6	231,976.8	366,699.0	236,750.0
前年度比 (%)		72.2%	158.1%	64.6%
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	令和2年度：業務量の見直しにより減少する見込です。			

(3) 活動指標	指標名	人権に関する市民啓発講演会の開催回数				単位:	回
	指標説明	市民に広く人権教育を推進するために行う市民啓発講演会の開催状況					
		平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込		
	実績値	5	6	4	4		

(4) 成果指標	指標名	人権問題市民啓発講演会参加人数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	人権教育・啓発事業のなかで中心的な行事の出席者数の状況							
	目標値の設定方針	240人以上の参加を目指します							
		平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込				
	目標値	240	240	240	240				
	実績値	248	380	230					
達成度 (%)	103.3%	158.3%	95.8%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	市民啓発講演会などの実施により、市民に対し広く人権教育を実施し確実に成果を上げてきました。しかしながら、インターネット上での人権侵害など人権問題が複雑化しています。市民一人ひとりの人権への正しい理解と人権意識の高揚を図る必要があります。また、市民啓発講演会の参加者の拡大を図る必要があります。
----------	--

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
人権への正しい理解と人権意識の高揚を図るために、市民啓発講演会をより理解しやすく市民の要望に沿った内容とし、広報等により参加者を拡大します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	西村 斎
人権への正しい理解と人権意識の高揚は、人権教育を推進する上で重要な課題となります。さらに啓発・推進していくために、人権週間に行うメッセージ展の開催、地区別講演会など、各種行事の充実をします。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和 元 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-5 梅山大学活動事業	担当課	人づくり文化課（中央公民館）	
		作成者	村井 希吉	
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	50 生涯学習振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	高齢者が、生涯学習を通じてその年齢にふさわしい社会的能力を高め、教養を研鑽します。
------------	---

3. 事務事業の実績	<p>(1) 事業の実施内容(令和元年度)</p> <p>入学式・開講式の挙行。 中央研修として、日帰り研修、文化祭、講演会などを実施。 クラブ活動ごと、あるいは地区ごとに独自の活動を実施。 執行部会、運営委員会を開催して、自主的な運営を行いました。</p>
------------	---

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込
① 直接事業費	267,840	205,938	170,280	442,000
② 人件費	240,000	825,000	825,000	825,000
③ 合計コスト ①+②	507,840	1,030,938	995,280	1,267,000
前年度比 (%)		203.0%	96.5%	127.3%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	507,840	1,030,938	995,280
④ 活動一単位当たりコスト	17,511.7	35,549.6	34,320.0	63,350.0
前年度比 (%)		203.0%	96.5%	184.6%
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	令和2年度：事業費の増額、業務量の見直しによりコストが増加しました。			

(3) 活動指標	指標名	中央研修会等の活動回数			単位:	回
	指標説明	中央研修会等の活動回数				
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込	
		29	29	29	20	

(4) 成果指標	指標名	学生数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	入学式時点での学生数						
	目標値の設定方針	前年度実績の100%						
		平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込			
	目標値	268	195	133	191			
	実績値	195	133	191				
達成度 (%)	72.8%	68.2%	143.6%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	<p>大学生、大学院生、助手で構成されているが、全体的に高齢化が進んでいます。高齢者のうちでも若い世代の人々は、こうした集まりに参加することをためらう人が多く、新入生が得られないため、全体として学生数が減少傾向にあります。</p>
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
60歳代の方々を中心に、梅山大学への入学をさらに働きかけていきます。また、高齢消費者被害防止事業をさらに活用し、一層充実したプログラムとすることにより新入生の獲得を図ります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	西村 斎
高齢化時代を迎え、今後ますます元気な高齢者が増加していきます。元気な高齢者とその年齢にふさわしい社会的能力を高め、教養を研鑽していくためには、梅山大学活動を今後も続けていくべきです。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

令和  年度

1. 事務事業の概要

事務事業名	53-6 生涯学習推進事務事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	小澤 拓也
行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
総合計画上の施策名	50 生涯学習振興と環境整備		
施策名(評価単位)	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的

「1市民・1芸・1スポーツ・1ボランティア」の実践に向け、市民のライフスタイルに合わせた、多様な生涯学習の提供と学習環境の充実を図ります。

3. 事務事業の実績

(1) 事業の実施内容(令和元年度)

- ・放課後子ども教室を中野区知小中学校と大矢田小学校の2校区の公民館で実施しました。
- ・土曜の教育活動推進事業として、子どもを対象にした木のワークショップを6地区で開催しました。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1地区を中止としました。）
- ・安心して生涯学習が行えるよう全市民を対象に市民活動災害補償保険（いきいき保険）に加入しました。
- ・生涯学習センターなど生涯学習施設の適正な維持管理に努めました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト

(単位:円)

区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込
① 直接事業費	8,755,509	9,674,030	15,547,655	8,501,000
② 人件費	1,280,000	3,225,000	3,000,000	2,700,000
③ 合計コスト ①+②	10,035,509	12,899,030	18,547,655	11,201,000
前年度比 (%)		128.5%	143.8%	60.4%
財源内訳	国・県支出金	0	715,000	991,000
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	104,200
	一般財源	10,035,509	12,184,030	17,452,455
④ 活動一単位当たりコスト	313,609.7	314,610.5	370,953.1	160,014.3
前年度比 (%)		100.3%	117.9%	43.1%
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	令和元年度：上牧生涯学習センターグラウンド整備のため費用が増加しました。			

(3) 活動指標

指標名	子ども教室の開催回数	単位:	回
指標説明	子どもを対象にした放課後や土日等の活動の回数		
実績値	平成29年度実績 32	平成30年度実績 41	平成元年度実績 50
			令和2年度見込 70

(4) 成果指標

指標名	子ども教室の参加人数	単位:	人	評価:	+
指標説明	放課後や土日等の活動の参加人数				
目標値の設定方針	1回あたり20名の出席				
目標値	平成29年度実績 240	平成30年度実績 620	平成元年度実績 1,150	令和2年度見込 1,400	
実績値	153	946	1,317		
達成度 (%)	63.8%	152.6%	114.5%		

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）

評価

A

① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No	
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No	
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No	
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No	

5. 評価・課題

平成30年度から放課後の子どもの居場所をつくる目的で、放課後子ども教室を2校区の公民館で開設しています。内容は概ね好評で、子どもたちが地域の人たちに見守られて活動することで繋がりができています。今後の課題として、スタッフとなる地域サポーターの確保や、他地区での開催を検討していく必要があります。土曜の教育活動推進事業「木をテーマとしたワークショップ」を6地区で開催しました。今後はこの事業から、地域の新たな展開や活性化に繋がっていくことが期待できると考えます。課題として、事業の周知を更に図っていくことや、マンネリ化を防ぐ意味でも前年度からの内容に変化を加えるなどの工夫が必要です。

6. 具体的な改善内容

改善時期

令和2年4月

ワークショップ内容の見直しと、地域事業として展開していくきっかけとなるような活動にしていきます。放課後子ども教室の地域サポーター確保と、子どもが安全安心に過ごせる居場所が1つでも多く提供できるよう、学校や地域と連携していきます。

7. 事業の総合評価及び今後の方向性

所属長氏名

西村 斎

地域の中で子どもを見守っていく体制が確立されつつあります。今後は十分なサポーターを確保し、児童に安心安全な居場所を提供していくことで、更に地域と連携していきます。

今後の方向性

1. 継続

( 1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合 )

事務事業評価表（一般事業）

令和  年度

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-7 図書館運営事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	古田 志保
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類
	総合計画上の施策名	52 図書館事業の充実	
	施策名(評価単位)	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進	

2. 事務事業の目的	図書資料・情報の収集、施設の充実により「知の拠点」として、市民の学習機会の場に供します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和元年度)	<p>専門化、細分化した図書や最新の情報に沿った図書を購入しました。                  「はじめまして絵本（保健センター7か月健康相談時）」で幼児期の読み聞かせの大切さやその方法を保護者に指導するとともに、定期的に開催する「おはなし会（読み聞かせ）」等で子どもに本に親しむ機会を提供し、子どもの読書活動を推進しました。                  市内の各小学校へ出掛ける移動図書館や館内で開催する古本市など、図書サービスの多様化を図りました。</p>

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込
① 直接事業費	25,195,694	25,635,520	25,541,812	29,505,000
② 人件費	1,680,000	1,200,000	1,350,000	1,425,000
③ 合計コスト ①+②	26,875,694	26,835,520	26,891,812	30,930,000
前年度比 (%)		99.9%	100.2%	115.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	26,875,694	26,835,520	26,891,812
④ 活動一単位当たりコスト	94,300.7	91,902.5	94,357.2	108,146.9
前年度比 (%)		97.5%	102.7%	114.6%
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明					
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込	
		285	292	285	286	

(4) 成果指標	指標名	貸出冊数			単位:	冊	評価:	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上						
		平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込			
	目標値	75,200	71,110	71,470	76,930			
	実績値	67,720	68,067	73,264				
達成度 (%)	90.1%	95.7%	102.5%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>築50年が経過し老朽化していること、及び、耐震診断の結果を踏まえて、早急に耐震工事、補修を実施する必要があります。                  貸出冊数は一時減少しましたが、「おすすめ本」コーナーでテーマを変えて図書を紹介する工夫等により、徐々に増加してきました。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
<p>安心安全に施設を利用していただけるよう、計画的な整備をしていきます。                  更に「おすすめ本」コーナー等の展示を工夫し、利用者の興味を促していきます。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	西村 斎
<p>図書館の利用目的は貸出のほかに学習、親子で絵本を見る等、人それぞれです。利用者のニーズに合わせた蔵書の更新や関係機関との連携を行い、利用しやすい環境の図書館にします。また、子どもに本と親しむ機会を提供していくとともに、学校図書館と連携しながら読書活動を推進します。</p>		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

令和 元 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-8 成人式開催事業	担当課	人づくり文化課（中央公民館）	
		作成者	村井 希吉	
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	53 公民館事業の充実		
	施策名(評価単位)	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	成人式を開催し、社会生活での自立と自覚を促します。
------------	---------------------------

3. 事務事業の実績	<p>(1) 事業の実施内容(令和元年度)</p> <p>美濃市文化会館で開催しました。各地区からの新成人実行委員を選出し、実行委員の企画立案により運営しました。新成人226名中181名の出席がありました。</p>
------------	---

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込
① 直接事業費	386,691	334,697	378,787	453,000
② 人件費	1,680,000	1,950,000	2,325,000	2,700,000
③ 合計コスト ①+②	2,066,691	2,284,697	2,703,787	3,153,000
前年度比 (%)		110.5%	118.3%	116.6%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,066,691	2,284,697	2,703,787
④ 活動一単位当たりコスト	187,881.0	175,745.9	193,127.6	225,214.3
前年度比 (%)		93.5%	109.9%	116.6%
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	令和2年度は、業務量の見直しにより人件費が増加しています。			

(3) 活動指標	指標名	成人式打ち合わせ会に出席した実行委員延べ数			単位:	人
	指標説明	成人式打ち合わせ会に出席した実行委員延べ数				
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込	
		11	13	14	14	

(4) 成果指標	指標名	成人式出席者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	成人式に出席した新成人の数						
	目標値の設定方針	新成人の数						
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込			
	達成度 (%)	184	202	226	200			
	170	168	181					
	92.4%	83.2%	80.1%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	<p>人生の節目に相応しい事業となるよう、問題点を洗い出し、改善につとめていかなければなりません。</p>
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年度4月
<p>実行委員公募の告知を拡充し、新成人自らが企画運営する手作りの成人式であることを広くPRした上で開催します。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	西村 斎
<p>成人式は人生の節目の行事として全国各地で実施しています。美濃市では毎年、新成人が自ら実行委員会を組織し、成人式を企画運営しています。今後、成人年齢の引き下げも視野に入れつつ、新成人にふさわしい式典となるよう実行委員会と共に実施していきます。</p>		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)



事務事業評価表（一般事業）

令和 元 年度

1. 事務事業の概要					
事務事業名	53-9	中央公民館運営補助事業		担当課	人づくり文化課（中央公民館）
				作成者	村井 希吉
施策体系	行政分野	④教育・文化		施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	53 公民館事業の充実			
	施策名（評価単位）	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進			

2. 事務事業の目的	生涯学習を推進し、地域社会活動を促進するために中央公民館の運営管理をします。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和元年度）	美濃市中央公民館の職員は現在3名ですが、うち1名は梅山大学および美濃公民館の事務を主にしているため、中央公民館の事務については2名で行っています。 中央公民館の主催する生涯学習講座は21講座を計画し17講座が開催され、延べ1,832人の出席があり、この講座の成果を生涯学習まつりで発表しました。 また、定期的に使用している団体は62団体があり、そのうち21団体が生涯学習まつりにおいて活動の成果を発表しました。 その他貸館業務として1,539件ありました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト <span style="float: right;">（単位：円）</span>					
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込	
① 直接事業費	10,888,274	10,545,064	11,760,367	10,542,000	
② 人件費	3,680,000	3,825,000	3,075,000	2,325,000	
③ 合計コスト ①+②	14,568,274	14,370,064	14,835,367	12,867,000	
前年度比（％）		98.6%	103.2%	86.7%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	1,591,460	1,709,180	1,742,320	1,680,000
	一般財源	12,976,814	12,660,884	13,093,047	11,187,000
④ 活動一単位当たりコスト	766,751.3	898,129.0	872,668.6	756,882.4	
前年度比（％）		117.1%	97.2%	86.7%	
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)					

(3) 活動指標	指標名	生涯学習講座開催講座数				単位：	講座
	指標説明	生涯学習講座開催講座数					
		平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込		
	実績値	19	16	17	17		

(4) 成果指標	指標名	生涯学習講座参加延べ人数				単位：	人	評価：	+
	指標説明	生涯学習講座参加延べ人数							
	目標値の設定方針	生涯学習講座当初募集定員延べ人数							
		平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込				
	目標値	3,747	3,817	3,307	2,500				
	実績値	2,061	2,229	1,832					
達成度（％）	55.0%	58.4%	55.4%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>建築後30年以上経過し、建物も設備も老朽化して、使用する市民に不便をかけることもあります。いつも便利に利用できる公民館を維持していかなければなりません。 生涯学習講座の数や開催した講座の数は、近年ほとんど変わっていませんが、その内容は変化しております。今後も市民が本当に望んでいる講座の発掘など、講座内容をよく吟味することが必要となっています。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
<p>講座受講生、公民館利用者、講師依頼予定者、新講座の講師希望者など、各方面からの要望を反映させた講座を計画します。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	西村 斎
<p>公民館は市民の学習の場としてなくてはならない施設であり、より適切な管理運営をします。 生涯学習講座は初心者を対象としているにもかかわらず、くりかえし受講を希望する受講生が多くあることから、市民に定着している事業となっています。自主的な生涯学習活動への入口として、さらに市民の要望に沿ったメニューを取り入れていきます。</p>			
今後の方向性	1. 継続	( 1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合 )	

事務事業評価表（一般事業）

令和 元 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-10	市美術展事業	担当課	人づくり文化課（中央公民館）
			作成者	村井 希吉
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	53 公民館事業の充実		
	施策名(評価単位)	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	美術展の開催により、水準の高い文化を創造します。
------------	--------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和元年度)	6部門（洋画、日本画、彫塑・工芸、書、写真、和紙画）114作品の出展がありました。その中から市展賞、市長賞、教育長賞、優秀賞、奨励賞、入選を選考し、美術展最終日に表彰を行いました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込
① 直接事業費	283,561	308,127	291,961	340,000
② 人件費	1,680,000	1,950,000	2,325,000	2,700,000
③ 合計コスト ①+②	1,963,561	2,258,127	2,616,961	3,040,000
前年度比 (%)		115.0%	115.9%	116.2%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,963,561	2,258,127	2,616,961
④ 活動一単位当たりコスト	654,520.3	752,709.0	872,320.3	1,013,333.3
前年度比 (%)		115.0%	115.9%	116.2%
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	R2年度：事業費の増額、業務量の見直しによりコストが増加しました。			

(3) 活動指標	指標名	美術展代表者（審査員）打合せ会開催回数				単位:	回
	指標説明	美術展代表者（審査員）打合せ会開催回数					
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込		
		3	3	3	3		

(4) 成果指標	指標名	出展数				単位:	点	評価:	+
	指標説明	出展数							
	目標値の設定方針	前年度実績の100%以上							
		平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込				
	目標値	132	125	126	125				
	実績値	125	126	114					
達成度 (%)	94.7%	100.8%	90.5%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
市内のみならず、他県や他市町村からの応募もありますが、出展数が若干減少傾向となっています。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
ホームページや広報等で広く一般に公募案内をするとともに、昨年の出品者にも出展依頼を行います。出品作品の申し込み方法の便宜を図るため、今年もFAXによる申し込みを可能とします。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	西村 齋
全体としての出展者数は減少傾向にあり、その中で他市町村からの出展者が増加しています。美術展としての展示会でなく、部門ごとの展示会等の方法も検討する必要があります。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

令和 元 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-11	地区公民館施設管理事業	担当課	人づくり文化課（中央公民館）
			作成者	村井 希吉
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	53 公民館事業の充実		
	施策名(評価単位)	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	生涯学習を推進し、地域社会活動を促進するために地区公民館の運営管理をします。
------------	--

3. 事務事業の実績	(1) 事業の実施内容(令和元年度)	洲原、上牧、大矢田、藍見、中有知の5公民館の管理運用がスムーズに行われるよう、需用費、役務費、管理人委託料などを負担し、これらが適正に使用されるよう指導します。
------------	--------------------	--

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込	
① 直接事業費	11,185,788	6,150,244	15,037,760	41,326,000	
② 人件費	1,120,000	1,950,000	2,325,000	2,325,000	
③ 合計コスト ①+②	12,305,788	8,100,244	17,362,760	43,651,000	
前年度比 (%)		65.8%	214.3%	251.4%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	34,800,000	
	その他特定財源	324,100	282,450	296,700	274,000
	一般財源	11,981,688	7,817,794	17,066,060	8,577,000
④ 活動一単位当たりコスト	2,461,157.6	1,620,048.8	3,472,552.0	8,730,200.0	
前年度比 (%)		65.8%	214.3%	251.4%	
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	令和元年度はトイレの改修工事により事業費が増加しています。令和2年度は耐震診断・設計、耐震補強工事のため事業費が増加しています。				

(3) 活動指標	指標名	使用料を公民館予算へ納付している地区公民館数			単位:	館
	指標説明	使用料を公民館予算へ納付している地区公民館数				
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込	
		5	5	5	5	

(4) 成果指標	指標名	地区公民館の自主事業数			単位:	事業	評価:	+
	指標説明	地区公民館の自主事業数						
	目標値の設定方針	前年度の100%以上						
		平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込			
	目標値	130	120	116	115			
実績値	120	116	115					
達成度 (%)	92.3%	96.7%	99.1%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	現在、美濃市には地区公民館7館と中央公民館があり、それぞれ活動を行っています。地区公民館は地域ふれあいセンターに併設されたものと、地域ふれあいセンターを併設しているものがあり、そのどちらも、地域コミュニティの場として地域づくり活動、生涯学習活動、各種団体活動など、地域活動の拠点となる機能の充実が必要です。
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
自治会活動、各種団体活動、生涯学習活動などに積極的に取り組み、地域の身近な活動拠点となるよう機能の充実と利用を促進していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	西村 斎
地区公民館は地域ふれあいセンターとしての機能も有しており、地域活動の拠点として適正な管理運営を継続します。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

令和 元 年度

<b>1. 事務事業の概要</b>				
事務事業名	53-12	市体育館施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	平田 匠
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

<b>2. 事務事業の目的</b>	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、市体育館を適正に維持管理します。
-------------------	--

<b>3. 事務事業の実績</b>	美濃市体育館・洲原体育館・大矢田体育館の3施設の管理 ・体育施設管理業務委託 ・清掃委託 ・消防設備点検業務委託 ・浄化槽保守点検業務委託 ・光熱水費など
(1) 事業の実施内容(令和元年度)	

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	
① 直接事業費	3,833,396	2,432,105	8,091,949	3,259,000	
② 人件費	825,000	825,000	825,000	900,000	
③ 合計コスト ①+②	<b>4,658,396</b>	<b>3,257,105</b>	<b>8,916,949</b>	<b>4,159,000</b>	
前年度比 (%)		<b>69.9%</b>	<b>273.8%</b>	<b>46.6%</b>	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	895,820	695,590	708,770	655,000
	一般財源	<b>3,762,576</b>	<b>2,561,515</b>	<b>8,208,179</b>	<b>3,504,000</b>
④ 活動一単位当たりコスト	<b>15,124.7</b>	<b>10,609.5</b>	<b>28,951.1</b>	<b>13,503.2</b>	
前年度比 (%)		<b>70.1%</b>	<b>272.9%</b>	<b>46.6%</b>	
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	令和元年度は洲原体育館床面改修工事のほか各体育館で照明器具取替をはじめ施設修繕を多く行ったため、事業費が増加しました。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明	体育館の開館日数				
		平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	
	実績値	308	307	308	308	

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	体育館を利用した人数						
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
		平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込			
	目標値	30,000	30,000	30,000	30,000			
	実績値	30,278	29,275	25,921				
達成度 (%)	<b>100.9%</b>	<b>97.6%</b>	<b>86.4%</b>					

<b>4. 妥当性評価</b> (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	<b>A</b>
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

<b>5. 評価・課題</b>	安全に使用できるよう維持管理を実施しました。施設が老朽化しており、修繕が必要な箇所も多くあり、優先順位をつけた計画的な修繕が必要です。利用者数については、昨年より減少しましたが、多くの団体が体育館を利用しております。
-----------------	--

<b>6. 具体的な改善内容</b>	改善時期	令和2年4月
美濃市内の体育館を安全安心に使用できるよう維持管理を適正に実施するとともに、修繕が必要な箇所を優先順位をつけて修繕していきます。		

<b>7. 事業の総合評価及び今後の方向性</b>	所属長氏名	西村 斎
適性に維持管理するとともに、老朽化した施設を優先順位をつけ計画的に修繕します。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

令和  年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-13	各地区グラウンド施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	平田 匠
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、地区グラウンドを適正に維持管理します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和元年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下牧・御手洗・大矢田・藍見・中有知の5箇所のグラウンドの管理業務委託</li> <li>・光熱水費など</li> <li>・グラウンドの土の補給</li> </ul>

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	
① 直接事業費	1,871,089	1,014,519	1,460,310	1,194,000	
② 人件費	880,000	825,000	825,000	900,000	
③ 合計コスト ①+②	2,751,089	1,839,519	2,285,310	2,094,000	
前年度比 (%)		66.9%	124.2%	91.6%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	10,190	4,320	3,100	4,000
	一般財源	2,740,899	1,835,199	2,282,210	2,090,000
④ 活動一単位当たりコスト	7,663.2	5,124.0	6,365.8	5,832.9	
前年度比 (%)		66.9%	124.2%	91.6%	
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	令和元年度はグラウンドの樹木伐採等で事業費が増加しました。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明	利用可能な日				
		平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	
	実績値	359	359	359	359	

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	御手洗グラウンドの利用者数						
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
		平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込			
	目標値	9,000	11,000	11,000	10,000			
	実績値	9,697	11,235	8,607				
達成度 (%)	107.7%	102.1%	78.2%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
各グラウンドを安全安心に使用できるよう維持管理を実施しました。施設が老朽化しており、各所で修繕が必要なことが課題です。利用者数については減少傾向にあります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
修繕が必要な箇所については、優先順位をつけて、修繕を行っていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	西村 斎
市民が利用しやすいグラウンドとするため、適正に維持管理をしていきます。修繕が必要な箇所については、優先順位をつけ、計画的な修繕を行っていきます。			
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和 元 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-14	和紙の里スポーツ広場施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	平田 匠
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、和紙の里スポーツ広場を適正に維持管理します。
------------	--

3. 事務事業の実績	<p>(1) 事業の実施内容(令和元年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託管理業務委託</li> <li>・電気設備保守点検業務委託</li> <li>・浄化槽清掃点検業務委託</li> <li>・光熱水費など</li> </ul>
------------	---

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	
① 直接事業費	5,756,966	7,706,932	5,222,792	5,674,000	
② 人件費	880,000	825,000	825,000	900,000	
③ 合計コスト ①+②	<b>6,636,966</b>	<b>8,531,932</b>	<b>6,047,792</b>	<b>6,574,000</b>	
前年度比 (%)		<b>128.6%</b>	<b>70.9%</b>	<b>108.7%</b>	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	1,985,640	1,857,510	1,404,703	1,875,000
	一般財源	<b>4,651,326</b>	<b>6,674,422</b>	<b>4,643,089</b>	<b>4,699,000</b>
④ 活動一単位当たりコスト	<b>21,548.6</b>	<b>27,791.3</b>	<b>19,635.7</b>	<b>21,344.2</b>	
前年度比 (%)		<b>129.0%</b>	<b>70.7%</b>	<b>108.7%</b>	
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	平成30年度に照明修繕があったため、令和元年度の事業費が減少しました。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数				単位:	日
	指標説明						
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込		
		308	307	308	308		

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	施設の年間利用者数							
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込				
		13,000	13,000	13,000	11,000				
	達成度 (%)	11,967	12,403	10,647					
		<b>92.1%</b>	<b>95.4%</b>	<b>81.9%</b>					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	安全に使用できるよう施設の維持管理を実施しました。施設全体が老朽化しており計画的な修繕が必要です。利用者数の増減はありませんが、一定数の利用はあります。
----------	--

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
優先順位をつけ、計画的に修繕をしていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	西村 斎
利用しやすい施設にするために、老朽化した施設を計画的に修繕していきます。		
今後の方向性	1. 継続	( 1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合 )

事務事業評価表（一般事業）

令和  年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-15	運動公園施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	平田 匠
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、運動公園を適正に維持管理します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和元年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動公園管理業務委託</li> <li>・テクノパーク・テニスコート管理業務委託</li> <li>・浄化槽維持管理業務委託</li> <li>・電気設備保安管理業務委託</li> <li>・貯水槽点検清掃・水質検査業務委託</li> <li>・光熱水費など</li> </ul>

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	
① 直接事業費	12,743,221	26,807,836	10,712,367	13,881,000	
② 人件費	880,000	825,000	825,000	900,000	
③ 合計コスト ①+②	13,623,221	27,632,836	11,537,367	14,781,000	
前年度比 (%)		202.8%	41.8%	128.1%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	1,484,600	1,122,060	1,467,888	1,257,000
	一般財源	12,138,621	26,510,776	10,069,479	13,524,000
④ 活動一単位当たりコスト	44,231.2	89,717.0	37,459.0	47,990.3	
前年度比 (%)		202.8%	41.8%	128.1%	
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	平成30年度にテニスコートの工事をしたため、令和元年度の事業費は減少しました。令和2年度は修繕を行うため、直接事業費が増加する見込みです。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明	運動公園の開館日数				
		平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	
	実績値	308	308	308	308	

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	運動公園の年間利用者数						
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
		平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込			
	目標値	31,000	30,000	30,000	25,000			
	実績値	27,506	22,371	23,478				
達成度 (%)	88.7%	74.6%	78.3%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>老朽化した施設の修繕を行うとともに、安全に使用できるよう施設の維持管理を実施しました。施設全体が老朽化しており、計画的な修繕が必要です。利用者は増加しましたが、以前よりは減少傾向にあります。令和2年度は老朽化の著しい弓道場屋根等改修工事にかかる予算が増額しています。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
<p>老朽化した施設が多いため、優先順位をつけ、計画的な修繕を検討していきます。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	西村 斎
<p>利用者が徐々に減少していますが、利用しやすい施設にする必要があります。</p>			
今後の方向性	1. 継続	( 1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合 )	

事務事業評価表（一般事業）

令和  年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-16	台山ヒロック施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	平田 匠
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、台山ヒロックを適正に維持管理します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和元年度)	・台山ヒロックのポンプ及びトイレの電気料金、トイレの上下水道料

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	
① 直接事業費	650,050	3,176,395	646,367	726,000	
② 人件費	880,000	825,000	825,000	900,000	
③ 合計コスト ①+②	1,530,050	4,001,395	1,471,367	1,626,000	
前年度比 (%)		261.5%	36.8%	110.5%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	19,720	16,930	22,220	17,000
	一般財源	1,510,330	3,984,465	1,449,147	1,609,000
④ 活動一単位当たりコスト	4,967.7	12,991.5	4,777.2	5,279.2	
前年度比 (%)		261.5%	36.8%	110.5%	
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)					

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明	利用可能日数				
		平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	
	実績値	308	308	308	308	

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	台山グラウンド年間利用者数						
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
		平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込			
	目標値	18,000	18,000	18,000	12,000			
	実績値	15,551	14,302	11,324				
達成度 (%)	86.4%	79.5%	62.9%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
主としてサッカー競技者が利用しています。施設や備品の老朽化が進んでいることから、優先順位をつけた修繕が必要です。利用者は減少傾向にあります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
老朽化している箇所、備品を把握し、計画的に修繕、備品購入し利用者の利便性向上を図ります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	西村 斎
利用者の利便性向上のために、計画的な修繕及び備品の購入をしていきます。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)



事務事業評価表（一般事業）

令和 元 年度

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-17 市民プール施設管理事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	須田 雅士
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類 2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備	
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、市民プールを適正に維持管理します。
------------	---

3. 事務事業の実績	<p>(1) 事業の実施内容(令和元年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民プール監視等管理業務委託</li> <li>・プールのスライダー・ろ過機修繕</li> <li>・光熱水費の支払い</li> </ul>
------------	--

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込	
① 直接事業費	12,648,095	12,451,486	11,331,893	273,000	
② 人件費	880,000	825,000	825,000	900,000	
③ 合計コスト ①+②	13,528,095	13,276,486	12,156,893	1,173,000	
前年度比 (%)		98.1%	91.6%	9.6%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	936,120	976,950	777,000	0
	一般財源	12,591,975	12,299,536	11,379,893	1,173,000
④ 活動一単位当たりコスト	307,456.7	295,033.0	270,153.2	#DIV/0!	
前年度比 (%)		96.0%	91.6%	#DIV/0!	
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	令和2年度は利用を休止するため光熱水費等の必要経費のみとなっています。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明	プールの開館日数				
		平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込	
	実績値	44	45	45	0	

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	プールの年間利用者数						
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
		平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込			
	目標値	9,500	9,500	9,500	0			
	実績値	7,156	6,802	6,113				
達成度 (%)	75.3%	71.6%	64.3%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	<p>利用者が安全安心して利用できるよう維持管理を行いました。施設が老朽化が著しく大規模なリニューアル工事または、廃止を含めた検討が必要です。</p>
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
令和2年度は利用を休止し今後の対応について検討する予定です。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	西村 斎
市民の憩いの場として多くの利用者がありましたが、施設の老朽化が著しく大規模なリニューアル工事及び廃止を含めた検討が必要です。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和 元 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-18	夜間学校開放施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	平田 匠
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、各小中学校体育館を適正に維持管理します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和元年度)	・学校開放体育館6カ所の維持管理（鍵の貸出業務は委託で実施）

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	
① 直接事業費	875,640	254,000	250,000	300,000	
② 人件費	880,000	825,000	825,000	900,000	
③ 合計コスト ①+②	1,755,640	1,079,000	1,075,000	1,200,000	
前年度比 (%)		61.5%	99.6%	111.6%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	210,830	189,184	214,305	480,000
	一般財源	1,544,810	889,816	860,695	720,000
④ 活動一単位当たりコスト	4,876.8	2,997.2	2,986.1	3,342.6	
前年度比 (%)		61.5%	99.6%	111.9%	
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	修繕の有無により直接事業費が増減します。特定財源については、2年度より体育施設の改修事業への充当がなくなったため、増額となります。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	開館日数
	指標説明					
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	
		360	360	360	359	

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
		平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込			
	目標値	51,000	51,000	51,000	40,000			
	実績値	52,807	44,908	34,541				
	達成度 (%)	103.5%	88.1%	67.7%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
適正な維持管理を実施しました。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
体育館利用団体が同一種目の場合は、合同で使用するよう勧めます。 美濃小、中有知小、美濃中の体育館は2面利用できるため、2団体の利用を依頼していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	西村 斎
利用団体が増加傾向のため、利用日時の調整や合同利用等の対策を進めスポーツの振興を促します。			
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和 元 年度

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-19 体育施設改修等事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	平田 匠
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類 2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備	
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	老朽化及び損傷した体育施設を修繕し、利用者の安全確保とスポーツ振興及び市民の健康づくりを促進します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和元年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美濃市体育館・洲原体育館・大矢田体育館</li> <li>・曾代テニスコート・和紙の里テニスコート・テクノパークテニスコート</li> <li>・曾代グラウンド・和紙の里スポーツ広場グラウンド・各地区グラウンド</li> <li>・市民球場・市民プール</li> <li>・生涯学習施設体育館・各学校体育館</li> </ul> 以上体育施設の緊急的な修繕を行う。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	
① 直接事業費	1,162,629	997,431	2,211,034	1,000,000	
② 人件費	880,000	825,000	825,000	1,125,000	
③ 合計コスト ①+②	2,042,629	1,822,431	3,036,034	2,125,000	
前年度比 (%)		89.2%	166.6%	70.0%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	271,050	248,566	284,755	0
	一般財源	1,771,579	1,573,865	2,751,279	2,125,000
④ 活動一単位当たりコスト	6,631.9	5,936.3	9,857.3	6,899.4	
前年度比 (%)		89.5%	166.1%	70.0%	
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	令和元年度より修繕が少ない予定であるため直接事業費が減少します。特定財源については、2年度より財源の充当がなくなるため、0円としました。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明					
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	
		308	307	308	308	

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
	目標値	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込			
	実績値	100,000	105,000	105,000	140,000			
達成度 (%)	102.15%	154.11%	132.20%					
		102.2%	146.8%	125.9%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
施設全体が老朽化しており、緊急性のあるものを修繕しました。修繕が必要な箇所が多いため、計画的な修繕が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
優先順位をつけて緊急性のあるものより修繕を実施していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	西村 斎
老朽化により修繕が必要な箇所が多数あります。優先順位をつけ緊急度の高い箇所から修繕をしていきます。			
今後の方向性	1. 継続	( 1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合 )	

事務事業評価表（一般事業）

令和  年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-21	スポーツ推進委員活動事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	須田雅士
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ振興のため、スポーツの実技指導及びその他スポーツに関する指導助言を行います。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和元年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種スポーツ教室の開催</li> <li>地区、県、東海四県、全国研究大会の参加</li> <li>各種スポーツ大会の協力及び講習会の開催</li> </ul>

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込
① 直接事業費	1,421,476	2,025,066	1,624,722	2,317,000
② 人件費	1,280,000	975,000	975,000	900,000
③ 合計コスト ①+②	2,701,476	3,000,066	2,599,722	3,217,000
前年度比 (%)		111.1%	86.7%	123.7%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,701,476	3,000,066	2,599,722
④ 活動一単位当たりコスト	540,295.2	600,013.2	649,930.5	643,400.0
前年度比 (%)		111.1%	108.3%	99.0%
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	研修会回数				単位:	回
	指標説明						
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込		
		5	5	4	5		

(4) 成果指標	指標名	研修会参加人数				単位:	人	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込				
	達成度 (%)	70	70	70	70				
	68	67	60						
	97.1%	95.7%	85.7%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	<p>台風の影響で研修会の中止がありました。参加率は良好です。各地区から2名の委員が選出されていますが、半数の地区で1期(2年)で2人とも変わっています。今後は、交互に代わるような調整をする必要があります。</p>
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
委員会で情報共有を行いながら、スポーツ教室・委員活動を実施していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	西村 斎
<p>スポーツ推進委員は、市全体の生涯スポーツの普及や市の目指す市民の体力向上に寄与しています。また、各地区において、公民館活動、体育振興会、体育推進委員会のメンバーとして、市と市民のパイプ役を担っています。今後も、積極的に参画して、地区における生涯スポーツ振興と市のスポーツのあり方等について助言をしていただきます。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和  年度

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-22 各種体育大会開催事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	須田 雅士
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類 2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備	
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	「1市民1スポーツ」の実現を目指して各種体育市民大会を開催します。
------------	-----------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和元年度)	市民大会開催により、スポーツとの出会いの場の提供と市民の健康増進を推進しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込
① 直接事業費	130,000	500,000	1,338,103	850,000
② 人件費	880,000	825,000	825,000	900,000
③ 合計コスト ①+②	1,010,000	1,325,000	2,163,103	1,750,000
前年度比 (%)		131.2%	163.3%	80.9%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,010,000	1,325,000	2,163,103
④ 活動一単位当たりコスト	1,010,000.0	1,325,000.0	540,775.8	437,500.0
前年度比 (%)		131.2%	40.8%	80.9%
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	事業費の見直しによる(補助金予算組み替え)			

(3) 活動指標	指標名	補助大会数				単位:	回
	指標説明						
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込		
		1	1	4	4		

(4) 成果指標	指標名	参加者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年実績以上							
		平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込				
	目標値	250	250	250	250				
実績値	198	95	236						
達成度 (%)	79.2%	38.0%	94.4%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
市民ソフトバレーボール、ペタンク、ゴルフ大会に合わせ、多くの方に知ってもらうため教室を開催しました。高齢者のみならず、若い方にも参加してもらえました。ねんりんピック2020岐阜大会プレ大会のウォークラリーを開催したため各種大会参加者数が増加しました。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
多くの参加者が得られるように、PRの手法や新規大会を開催していく必要があります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	西村 斎
市民大会を各種開催しているが、年々参加者が減少しているため、種目の検討、開催時期や会場の変更等、大会の運営方法の見直しを検討します。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和 元 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-23	体育協会補助事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	須田 雅士
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	55 スポーツ団体と指導者の育成		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツの普及と競技スポーツの振興、市民の健康づくりに寄与することを旨とする体育協会を支援してスポーツ活動の正しい普及発展を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和元年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民大会の開催</li> <li>・ ツアー・オブ・ジャパン美濃ステージの開催</li> <li>・ 競技種目団体への育成費・強化費の助成</li> <li>・ スポーツ少年団への助成金交付</li> <li>・ 機関紙の発行</li> <li>・ 特別強化事業の開催</li> <li>・ 優秀指導者、優秀選手の表彰</li> <li>・ 全国大会出場者激励会の開催</li> </ul>

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込
① 直接事業費	1,394,000	1,394,000	1,394,000	1,394,000
② 人件費	880,000	825,000	825,000	600,000
③ 合計コスト ①+②	2,274,000	2,219,000	2,219,000	1,994,000
前年度比 (%)		97.6%	100.0%	89.9%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,274,000	2,219,000	2,219,000
④ 活動一単位当たりコスト	142,125.0	170,692.3	170,692.3	153,384.6
前年度比 (%)		120.1%	100.0%	89.9%
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	市民大会開催数				単位:	回
	指標説明						
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込		
		16	13	13	13		

(4) 成果指標	指標名	県民スポーツ大会参加者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込				
	達成度 (%)	135	135	135	120				
	95	114	89						
	70.4%	84.4%	65.9%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>少子化、人口減少並びに競技の多種多様化等により県民スポーツ大会への出場選手及び市民大会の参加チーム数が減少傾向にあります。出場選手及び参加者数の増加及び競技力向上に向けた取り組みが必要です。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
<p>協会所属の競技団体へ育成を中心とした強化及び底辺の拡大を促します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ少年団またはジュニアクラブの募集</li> <li>・ 多種多様な初心者教室また体験教室の開催</li> </ul>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	西村 斎
<p>協会所属の競技団体の中には、世代交代または後進選手・指導者の育成ができていない団体もあり、小学生、中学生時からの指導育成がなされ、高校または大学卒業後に競技団体において中心選手として、晩年は指導者として活躍できるような形態となる環境を整備していきます。各競技団体にて底辺の拡大が、市民スポーツの向上、競技力向上、健康増進につながるようになります。</p>			
今後の方向性	1. 継続	( 1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合 )	

事務事業評価表（一般事業）

令和  年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-24	スポーツ少年団活動補助事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	平田 匠
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	55 スポーツ団体と指導者の育成		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ少年団の普及と育成及び活動の活性化を図り、青少年にスポーツを振興し青少年の心身の健全な育成を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流大会（5年生団員による宿泊研修）</li> <li>・母集団研修会</li> <li>・一日体験入団…中止</li> <li>・「指導者・育成者」表彰式及び「優秀団・優秀団員」表彰式</li> <li>・認定員養成講習会</li> </ul>
------------	---

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込
① 直接事業費	363,000	363,000	363,000	363,000
② 人件費	1,680,000	1,200,000	1,200,000	975,000
③ 合計コスト ①+②	2,043,000	1,563,000	1,563,000	1,338,000
前年度比 (%)		76.5%	100.0%	85.6%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,043,000	1,563,000	1,563,000
④ 活動一単位当たりコスト	408,600.0	312,600.0	390,750.0	334,500.0
前年度比 (%)		76.5%	125.0%	85.6%
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	業務量を見直したことにより、人件費が減額しています。			

(3) 活動指標	指標名	美濃市スポーツ少年団本部事業				単位:	回
	指標説明	美濃市スポーツ少年団本部において実施した事業					
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込		
		5	5	4	4		

(4) 成果指標	指標名	美濃市スポーツ少年団本部事業参加者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	美濃市スポーツ少年団本部事業に参加した人数							
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込				
	達成度 (%)	160	200	200	150				
	168	184	137						
	105.0%	92.0%	68.5%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5.評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	スポーツ少年団登録者が減少傾向にある為、体験入団等を通じて団員加入率の減少に歯止めをかけることが課題です。
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
指導者・育成者に研修会への参加を呼びかけるとともに、日時設定についても平日の夜間は避け、土日で行います。また、体験入団等を通じて実際に各スポーツを体験し、スポーツ少年団員の増加が見込めるイベントを行います。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	西村 斎
指導者・育成者向けの研修日は土日等、参加しやすい日時にします。新規団員獲得に向け、体験入団等を実施していきます。また、各種スポーツを保護者にもPRし、スポーツ少年団を理解してもらう取組をしていきます。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

令和  年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-25	スポーツ振興事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	須田 雅士
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	55 スポーツ団体と指導者の育成		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ教室の企画・運営、各種スポーツ大会のマネジメントを実施してスポーツ振興を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種スポーツ大会のマネージメント</li> <li>各種スポーツ教室の開催</li> <li>体育施設の貸出、料金徴収、清掃</li> <li>NPO法人うだつアップクラブへの業務委託</li> </ul>
------------	--

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込
① 直接事業費	6,150,456	6,150,481	6,150,870	6,151,000
② 人件費	880,000	825,000	825,000	900,000
③ 合計コスト ①+②	7,030,456	6,975,481	6,975,870	7,051,000
前年度比 (%)		99.2%	100.0%	101.1%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	7,030,456	6,975,481	6,975,870
④ 活動一単位当たりコスト	2,343,485.3	2,325,160.3	2,325,290.0	2,350,333.3
前年度比 (%)		99.2%	100.0%	101.1%
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	スポーツ大会数			単位:	回
	指標説明					
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込	
		3	3	3	3	

(4) 成果指標	指標名	スポーツ施設利用者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込			
	達成度 (%)	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000		
	83,032	77,183	69,330					
	103.8%	96.5%	86.7%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	<p>少数の人員で、貸館業務を的確にこなし、利用者から信頼があります。施設の維持管理の委託が大変厳しい状況であるので、現状の見直しが必要です。スポーツ教室の企画運営を検討する必要があります。</p>
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
平成25年度より独自の企画運営のスポーツ教室・大会などを実施していますが、新たに計画しスポーツの普及・啓発を図る必要があります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	西村 斎
総合型地域スポーツクラブ「美濃うだつアップクラブ」の運営方法を具体的に検討し、将来的に独立運営していくために事業規模を拡大します。又、他の委託事業との整合性も考慮し、事業統合も考えます。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)



事務事業評価表（一般事業）

令和  年度

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-26	ツアー・オブ・ジャパン美濃ステージ開催補助事業	担当課 人づくり文化課
			作成者 須田 雅士
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類 2社会教育
	総合計画上の施策名	56 競技スポーツの支援	
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	自転車国際ロードレースツアー・オブ・ジャパンを開催し、スポーツ振興と自転車普及促進を図るとともに、美濃市を自転車のまちとしてPRします。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和元年度)	・ツアー・オブ・ジャパン美濃ステージの開催

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込	
① 直接事業費	9,850,000	9,800,000	9,800,000	11,000,000	
② 人件費	1,280,000	1,050,000	1,050,000	900,000	
③ 合計コスト ①+②	11,130,000	10,850,000	10,850,000	11,900,000	
前年度比 (%)		97.5%	100.0%	109.7%	
財源内訳	国・県支出金	0	3,000,000	2,700,000	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	3,850,000	3,800,000	3,800,000	3,800,000
	一般財源	7,280,000	4,050,000	4,350,000	8,100,000
④ 活動一単位当たりコスト	29,444.4	28,477.7	26,335.0	29,750.0	
前年度比 (%)		96.7%	92.5%	113.0%	
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)					

(3) 活動指標	指標名	ボランティア数			単位:	人
	指標説明					
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込	
		378	381	412	400	

(4) 成果指標	指標名	観客数			単位:	人	評価:	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
	目標値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込			
	実績値	30,000	30,000	30,000	31,000			
達成度 (%)	100.0%	50.0%	103.3%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	レースがメディアに取り上げられることにより、美濃市をPRすることができました。午前9時から午後1時頃までの通行規制があり、レースコースの沿線住民の理解は得られていますが、業者やゴルフ場利用者等、レースの開催を知らない車両への対応の検討をする必要があります。
----------	--

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
平成28年度から、愛三工業レーシングチームが美濃市のホームチームとなり、多くの市民が選手と交流し、ツアー・オブ・ジャパンとレースについて理解してもらうことにより、市全体でチームを応援し大会を盛り上げていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	西村 斎
大会運営をNPOの独自運営へ向けて協力し、大会運営に当たります。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

令和 元 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-27	文化会館運営事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	古田 志保
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	3文化・芸術
	総合計画上の施策名	57 文化芸術の振興と市民活動の支援		
	施策名(評価単位)	(38) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	舞台芸術を中心とした公演を実施・誘致して、市民の文化力を向上を図ります。
------------	--------------------------------------

3. 事務事業の実績	<p>(1) 事業の実施内容(令和元年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全安心な施設をめざして、設備の定期点検を行うとともに、舞台照明用ボデーケーブルの取替工事を実施しました。</li> <li>・舞台での催し物において、出演者も鑑賞者も満足するよう、舞台技術業務を専門業者に委託しました。</li> <li>・市民の芸術文化発表のために、文化協会を核にした芸術大会を開催しました。</li> <li>・自主事業として「神田京子独演会『芸暦ノ20歳』」「ものまねエンターテイメント コロケーション」を開催しました。</li> <li>・年間を通じて「みの あ〜と いんぷお」の作品展及びワークショップを開催しました。</li> </ul>
------------	--

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込
① 直接事業費	39,478,200	53,652,890	49,155,295	65,833,000
② 人件費	480,000	450,000	450,000	675,000
③ 合計コスト ①+②	39,958,200	54,102,890	49,605,295	66,508,000
前年度比 (%)		135.4%	91.7%	134.1%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	39,958,200	54,102,890	49,605,295
④ 活動一単位当たりコスト	92,495.8	136,969.3	123,704.0	162,214.6
前年度比 (%)		148.1%	90.3%	131.1%
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	令和2年度から音響設備を更新するため(賃貸借)事業費が増えています。			

(3) 活動指標	指標名	文化会館利用数			単位:	回
	指標説明	年間の延べ使用回数				
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込	
		432	395	401	410	

(4) 成果指標	指標名	市内人口に対する来館者、入場者数割合			単位:	%	評価:	+
	指標説明	年間延べ来館者、入場者数÷年度末人口×100						
	目標値の設定方針	前年度と同率以上						
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込			
	達成度 (%)	105	130	113	128			
	129.3	112.3	127.4					
	123.1%	86.4%	112.7%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	<p>文化会館は市民の文化芸術活動の基盤として、常に満足できる設備と態勢を保つ必要があります。文化芸術活動に対する市民からの要望は多様化、細分化しているため、情報収集と対応力の向上が求められています。</p>
----------	--

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
<p>施設、設備の老朽化が著しいため、今後も継続して計画的に改修、更新を行います。市民の要望に応えられる自主事業の展開ができるよう、様々なチャンネルを通じて要望調査を行います。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	西村 斎
<p>本格的な音響・照明設備等を備えた市内唯一のホールとして、文化の向上に寄与してきました。施設の適切な維持管理、舞台設備の改修等、多額の経費が必要になるため、優先順位をつけながら長期計画に基づいて実施します。平成25年度から移行した指定管理者制度も8年目となりましたが、今後も更なる文化向上を目指し事業展開を行います。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和 元 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-28	芸術文化協働推進事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	古田 志保
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	3文化・芸術
	総合計画上の施策名	57 文化芸術の振興と市民活動の支援		
	施策名(評価単位)	(38) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	市民協働による文化芸術活動の促進及び支援し、文化芸術及び文化力の向上を図ります。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和元年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民文化の向上を目的に設立された「NPO法人 四つ葉のコウゾ」に事業を委託し、協働事業として市内各団体と連携しながら、“ウタガキ・美濃”と銘打って年間で7回、市内各所でコンサート等の開催、各団体への協力を実施し、幅広く活動を展開しました。</li> <li>「東京2020参画プログラム」美濃和紙国際交流展の開催にあたり「NPO法人 四つ葉のコウゾ」へ企画等の委託をしました。</li> </ul>

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込
① 直接事業費	1,000,000	1,000,000	3,500,000	1,000,000
② 人件費	480,000	450,000	450,000	375,000
③ 合計コスト ①+②	1,480,000	1,450,000	3,950,000	1,375,000
前年度比 (%)		98.0%	272.4%	34.8%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,480,000	1,450,000	3,950,000
④ 活動一単位当たりコスト	211,428.6	207,142.9	564,285.7	171,875.0
前年度比 (%)		98.0%	272.4%	30.5%
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	令和元年度は直接事業費として委託事業が増加しました。令和2年度は別事業として予算計上しています。			

(3) 活動指標	指標名	開催回数				単位:	回
	指標説明	コンサート等催し物の開催回数					
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込		
		7	7	7	8		

(4) 成果指標	指標名	延べ来場者				単位:	人	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上							
		平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込				
	目標値	1,500	1,540	1,030	880				
実績値	1,459	980	836						
達成度 (%)	97.3%	63.6%	81.2%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
市民・地域団体との協働による音楽やパフォーマンスを開催し、地域の活性化と市民の文化力を高めることができました。新型コロナウイルス感染症の影響で、1団体のコンサートが中止となりました。今後も、市民の要望に即したものを市内全域にわたり実施していくことが必要です。また、NPO法人へ委託し「東京2020参画プログラム」美濃和紙国際交流展の企画、海外アーティストへの作品募集を行いました。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
各団体との情報交換により、さらに効果的に協働できるようになります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	西村 斎
うだつの上がる町並みほか市内で、7回のコンサート等を実施しました。市民や観光客の癒しのひと時を提供し、美濃のアーティストや団体の活動を広報する機会になりました。今後も幅広い世代に受け入れていただけるよう、各団体等と調整しながら継続して事業展開を行います。			
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：令和 元 年度）

1. 事務事業の概要					
事務事業名	53-31	市内遺跡発掘調査事業		担当課	人づくり文化課
				作成者	三島美奈子
施策体系	行政分野	④教育・文化		施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	60 文化財の保護・保全と活用			
	施策名(評価単位)	(38) 文化活動の促進			

2. 事務事業の目的	各種開発に伴う試掘・本調査や保存目的の測量・発掘調査等を行い、遺跡の保全・保護をします
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和元年度)	各種開発に伴う試掘調査 12件・257㎡ 工事立会 3件 保存目的の測量・発掘調査 2件・30㎡ 区画整理に伴う本調査 1件・472㎡

(2) 事務事業実施にかかるコスト					(単位:円)
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込	
① 直接事業費	14,409,895	10,085,630	8,540,023	13,099,000	
② 人件費	2,080,000	1,905,000	1,950,000	1,275,000	
③ 合計コスト ①+②	16,489,895	11,990,630	10,490,023	14,374,000	
前年度比		72.7%	87.5%	137.0%	
財源内訳	国・県支出金	5,031,000	4,394,000	3,450,000	3,450,000
	市債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	11,458,895	7,596,630	7,040,023	10,924,000
④ 活動一単位当たりコスト	7,417.9	24,928.5	13,820.8	29,637.1	
前年度比		336.1%	55.4%	214.4%	
⑤ コストに関する増減理由	埋蔵文化財発掘調査・試掘調査・工事立会の件数及び調査面積は年度毎に変動があります。				

(3) 活動指標	指標名	調査面積			単位:	㎡
	指標説明	各種開発や保存に伴う調査				
		平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込	
	実績値	2,223	481	759	485	

4. 評価・課題
各種開発に伴う調査は義務的なものであり、令和元年度も開発事業者の工期に配慮し、迅速に事前調査を行えました。保存目的の調査は史跡の範囲確認を継続して進めています。

5. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
各種開発に伴う調査は工期に配慮し、工事着工に遅れが出ないように迅速に行います。保存目的の調査については範囲及び形状の確認を行い、保存方法を検討します。		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	西村 齋
開発に伴う事前確認調査については、今後も開発事業を円滑に進めるため、遅滞なく進めていきます。保存目的調査については、新しく得られた知見を市民に公開し、文化財に対する理解を得ながら保護を進めていきます。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

令和 元 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-32	民俗文化財記録保存事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	三島美奈子
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	60 文化財の保護・保全と活用		
	施策名(評価単位)	(38) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	民俗資料を収集し郷土資料として整え、歴史学習、生涯学習に活用します。
------------	------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和元年度)	過去に収集を行った民俗資料を整理し、台帳整理を行いました。文化財指定をめざし、和紙関係資料の充実と分類資料の図化作業を中心に進めました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込
① 直接事業費	2,547,587	2,095,395	810,111	0
② 人件費	1,680,000	1,200,000	1,200,000	1,275,000
③ 合計コスト ①+②	4,227,587	3,295,395	2,010,111	1,275,000
前年度比 (%)		77.9%	61.0%	63.4%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	4,227,587	3,295,395	2,010,111
④ 活動一単位当たりコスト	642.0	500.4	305.3	193.6
前年度比 (%)		77.9%	61.0%	63.4%
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	資料収集作業は令和元年度で完了しました。			

(3) 活動指標	指標名	資料点数				単位:	点
	指標説明	収集資料点数					
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込		
		6,585	6,585	6,585	6,585		

(4) 成果指標	指標名	未整理資料点数				単位:	点	評価:	-
	指標説明	収集資料点数-整理済点数							
	目標値の設定方針	未整理資料が前年度以下になるよう設定							
		平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込				
	実績値	4	0	0	0				
達成度 (%)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
収集・整理作業は順調に終了しました。今後は将来に向けての保護・保存について検討が必要です。一般公開が可能な施設は整備されたため、収集した資料の展示に工夫が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
収集した資料については保護のため文化財指定を目指します。また、展示については、通常管理業務の中で、テーマを決め、収集した資料をなるべく多く市民へ公開できるように、計画的に行っていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	西村 斎
収集整理はほぼジャンルを網羅した感があります。和紙製作関連の資料整理も進んでおり、文化庁と連携しての保護施策に取り組んでいきます。また、収集資料については、展示変えを行いながら広く市民へ公開します。			
今後の方向性	1. 継続	( 1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合 )	

事務事業評価表（一般事業）

令和  年度

1. 事務事業の概要

事務事業名	53-33 市指定文化財修理等補助経費	担当課	人づくり文化課
		作成者	三島美奈子
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類 4文化財
	総合計画上の施策名	60 文化財の保護・保全と活用	
	施策名(評価単位)	(38) 文化活動の促進	

2. 事務事業の目的

市民の財産である文化財を保護・保全・伝承していくため、市指定文化財の修理・修復を行います。

3. 事務事業の実績

(1) 事業の実施内容(令和元年度)

市指定文化財の修理に対し、美濃市文化財保護費補助金交付要綱にもとづき補助金を交付。  
・魚屋町町旗復元新調事業

(2) 事務事業実施にかかるコスト

(単位:円)

区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込
① 直接事業費	0	233,000	645,000	0
② 人件費	1,680,000	1,575,000	1,575,000	1,275,000
③ 合計コスト ①+②	1,680,000	1,808,000	2,220,000	1,275,000
前年度比 (%)		107.6%	122.8%	57.4%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,680,000	1,808,000	2,220,000
④ 活動一単位当たりコスト	#DIV/0!	904,000.0	1,110,000.0	#DIV/0!
前年度比 (%)		#DIV/0!	122.8%	#DIV/0!
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	指定文化財の修理の有無、修理内容によりコストに変動があります。令和2年度は修理予定はありません。			

(3) 活動指標

指標名	市指定文化財修理件数				単位:	件
指標説明						
	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込		
実績値	0	2	2	0		

(4) 成果指標

指標名	市指定文化財修理件数				単位:	件	評価:	+
指標説明	市指定文化財の損傷箇所を修理することによって文化財という財産を次代に伝える							
目標値の設定方針	前年度にあった文化財の修理件数							
	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込				
目標値	0	2	2	0				
実績値	0	2	1					
達成度 (%)	—	100.0%	50.0%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）

評価 A

① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No	
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No	
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No	
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No	

5. 評価・課題

市指定文化財のうち、祭礼関係のものは次年度（4月）の祭礼に間に合うよう要望される傾向があります。緊急な修理については柔軟な予算対応が必要です。

6. 具体的な改善内容

改善時期 令和2年4月

計画的な修理が行えるよう、所有者との連絡を適宜取れるようにします。日頃から指定文化財の状態を確認し、修理計画を立てます。緊急を要するものについては、迅速な修理を行えるよう調整を行います。

7. 事業の総合評価及び今後の方向性

所属長氏名 西村 斎

要望があるものについて着実に修理が行われています。今後も計画的に修理等を行います。

今後の方向性 1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

令和  年度

1. 事務事業の概要

事務事業名	53-34	指定文化財保存整備事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	三島美奈子
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	60 文化財の保護・保全と活用		
	施策名(評価単位)	(38) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的

市民の財産である文化財を保護・保全・伝承していくため、県指定文化財の修理・修復を支援します。

3. 事務事業の実績

(1) 事業の実施内容(令和元年度)

県指定文化財保護費補助金交付要綱にもとづき補助金を交付。  
 ・洲原神社中央本殿保存修理  
 ・祭礼山車(舟山車)保存修理  
 ・美濃流しにわか用具修理(俵町)  
 ・美濃流しにわか用具修理(相生町)

(2) 事務事業実施にかかるコスト

(単位:円)

区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込
① 直接事業費	10,596,000	7,500,000	9,864,000	8,461,000
② 人件費	1,680,000	1,575,000	1,575,000	1,650,000
③ 合計コスト ①+②	12,276,000	9,075,000	11,439,000	10,111,000
前年度比(%)		73.9%	126.0%	88.4%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	12,276,000	9,075,000	11,439,000
④ 活動一単位当たりコスト	3,069,000.0	9,075,000.0	2,859,750.0	5,055,500.0
前年度比(%)		295.7%	31.5%	176.8%
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	指定文化財の修理内容によりコストに変動があります。令和2年度は2件対応予定です。			

(3) 活動指標

指標名	県指定文化財修理件数				単位:	件
指標説明						
	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込		
実績値	4	1	4	2		

(4) 成果指標

指標名	県指定文化財修理件数				単位:	件	評価:	+
指標説明	県指定文化財の損傷箇所を修理することによって文化財という財産を次代に伝える							
目標値の設定方針	前年度にあった文化財の修理件数							
	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込				
目標値	2	1	4	2				
実績値	4	1	4					
達成度(%)	200.0%	100.0%	100.0%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）

評価

A

① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No	
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No	
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No	
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No	

5. 評価・課題

県指定文化財の修理は県の採択数で補助決定するため、すべて採択されるわけではありませんが、事業内容を精査し、緊急を要するものについては、迅速な修理が行えるよう調整を行っています。

6. 具体的な改善内容

改善時期

令和2年4月

計画的な修理が行えるよう、指定文化財の状況等、所有者との連絡を適宜取れるようにします。修理内容によっては長期間にわたるものもあるため、専門家も交え、修理計画をたてます。また、昨今みられるような集中豪雨による倒壊など緊急を要するものについては、迅速に対応できるようにします。

7. 事業の総合評価及び今後の方向性

所属長氏名

西村 齋

要望があるものについて着実に修理が行われています。今後も計画的に修理等を行います。

今後の方向性

1. 継続

( 1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合 )

事務事業評価表（一般事業）

令和  年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-39	美濃和紙用具ミュージアム施設管理事業		担当課
				人づくり文化課
				作成者
				三島美奈子
施策体系	行政分野	④教育・文化		施策分類
	総合計画上の施策名	60 文化財の保護・保全と活用		
	施策名(評価単位)	38 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	美濃和紙産業を支える用具類及び民俗資料を展示し、次世代へと継承します。
------------	-------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和元年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用業務（観覧者受付、案内、体験業務等）</li> <li>施設清掃業務（体育館、グラウンド除く）</li> <li>収蔵資料管理（整理、展示品入替え）</li> </ul>

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分		平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込
① 直接事業費			5,928,293	6,013,712	3,684,000
② 人件費			1,200,000	1,200,000	900,000
③ 合計コスト ①+②		0	7,128,293	7,213,712	4,584,000
前年度比 (%)			#DIV/0!	101.2%	63.5%
財源内訳	国・県支出金			0	0
	市債			0	0
	その他特定財源		59,510	35,160	84,000
	一般財源	0	7,068,783	7,178,552	4,500,000
④ 活動一単位当たりコスト		-	33,309.8	23,651.5	14,980.4
前年度比 (%)			#VALUE!	71.0%	63.3%
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)		事業費の減額、人件費の見直しによりコストが減少しました。			

(3) 活動指標	指標名	開館日数				単位:	日
	指標説明	美濃和紙用具ミュージアムふくべの開館日数					
		平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込		
	実績値		214	305	306		

(4) 成果指標	指標名	入館者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	美濃和紙用具ミュージアムふくべの入館者数							
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
		平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込				
	目標値		1,500	1,500	1,500				
	実績値		1,498	1,332					
達成度 (%)	-	99.9%	88.8%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	<p>平成21度から収集を開始した美濃和紙用具等の恒久的展示施設として平成30年7月に「美濃和紙用具ミュージアムふくべ」をオープンしました。                  今後はより多くの方に来館していただくためPRが必要です。                  令和2年度は施設整備にかかる費用が減額しています。</p>
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
定期的な展示の入替えや小学校への周知活動を行なっていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	西村 斎
美濃和紙用具等の民俗資料は、後世に伝承すべき貴重な資料であります。また、美濃和紙の里会館、美濃手すき和紙の家にも隣接しており相乗効果が期待できるため、相互連携を図り積極的にPRしていきます。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)



事務事業評価表（一般事業）

令和 元 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-35	文化遺産活用推進事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	高木 宏和
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	63 歴史文化基本構想の推進		
	施策名(評価単位)	(38) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	市内に点在する文化財を指定・未指定にかかわらず幅広くとらえ、周辺環境までを含めて、総合的に保存・活用するための計画を作成します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和元年度)	文化財保護法改正に伴い、歴史文化基本構想から文化財保存活用地域計画として作成する方針とし、第3章まで作成しました。 計画作成に伴い、旧美濃町の商家、社寺を中心として文化財悉皆調査（古文書・文献・棟札・祭礼・伝統行事）を実施しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込	
① 直接事業費	14,153,402	14,866,211	14,416,895	11,349,000	
② 人件費	1,280,000	1,200,000	5,700,000	7,275,000	
③ 合計コスト ①+②	15,433,402	16,066,211	20,116,895	18,624,000	
前年度比 (%)		104.1%	125.2%	92.6%	
財源内訳	国・県支出金	4,253,000	4,398,000	6,296,000	518,000
	市債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	11,180,402	11,668,211	13,820,895	18,106,000
④ 活動一単位当たりコスト	89,729.1	93,954.5	117,642.7	108,912.3	
前年度比 (%)		104.7%	125.2%	92.6%	
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	令和元年度事業内容に文化財保存活用地域計画報告書作成費が含まれているため、コストが増加しました。				

(3) 活動指標	指標名	調査、講演会等				単位:	日
	指標説明	悉皆調査、講演会などの活動日数					
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込		
		172	171	171	171		

(4) 成果指標	指標名	調査件数、講演、実演件数				単位:	件	評価:	+
	指標説明	悉皆調査、講演会、実演件数							
	目標値の設定方針	基礎データ等の件数							
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込				
	達成度 (%)	950	1,200	920	1,212				
	923	914	914						
	97.2%	76.2%	99.3%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
文化財保存活用地域計画に関する基礎的資料の収集及びデータベース化のため文化財悉皆調査事業を実施し、文化財保存団体・地域住民・自治会との連携により、調査事業を一体的に進めることができました。 文化財保存活用のために講ずる措置の検討が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
引き続き市内に点在する歴史的資料や文化財等の悉皆調査を行い、文化財保存活用地域計画の策定に必要な資料収集をします。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	西村 齋
市内に所在する文化財を観光資源として活用し、観光客受入体制の整備や文化財周辺環境整備のために計画の策定は必要です。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：令和 元 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-37	町並み保存整備事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	川島 誠次
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	62 重要伝統的建造物群保存地区と周辺地区の保全		
	施策名(評価単位)	(38) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	伝統的建造物群保存地区内の歴史的風致を維持し、伝統的・歴史的な景観を向上させます。
------------	---

3. 事務事業の実績	<p>(1) 事業の実施内容(令和元年度)</p> <p>7件の修理に対し、補助金執行事務を行いました。                  【補助割合】                  伝統的建造物指定建造物8/10（限度額 600万円）、非指定建造物6/10（限度額400万円）                  （国補助1/2、市補助1/2）                  小坂家主屋 6,000千円、願念寺土蔵 2,000千円、願念寺鐘楼 5,348千円、松久家主屋 2,156千円                  山田家土蔵 2,082千円、鈴木家主屋 2,130千円、山下家主屋 400千円、事務費 50千円                  合計 20,166千円</p>
------------	--

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込	
① 直接事業費	17,439,000	16,782,000	20,166,403	27,782,000	
② 人件費	1,280,000	1,200,000	1,575,000	2,025,000	
③ 合計コスト ①+②	18,719,000	17,982,000	21,741,403	29,807,000	
前年度比		96.1%	120.9%	137.1%	
財源内訳	国・県支出金	8,719,000	11,391,000	10,083,000	13,279,000
	市債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	10,000,000	6,591,000	11,658,403	16,528,000
④ 活動一単位当たりコスト	2,674,142.9	5,994,000.0	3,105,914.7	4,258,142.9	
前年度比		224.1%	51.8%	137.1%	
⑤ コストに関する増減理由	各年度の修理対象により事業費が増減します。				

(3) 活動指標	指標名	修理・修景実施数			単位:	件
	指標説明	該当地区内において補助金を交付して実施した建築物の修理・修景事業の実施件数				
		平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込	
	実績値	7	3	7	7	

4. 評価・課題	<p>事務事業内容のほとんどが、建築設計・監理・査定であり、本物の景観を後世に伝えていくために技術面での吟味が必要であると同時に、専門の知識を習得した者が担当できる体制を整えることが必要です。</p> <p>また、美濃市における補助制度の開始は、消費税率が5%であった平成11年であり、その後に消費税率8%、さらに10%に変更になっても補助金額の上限（伝建物600万円、非伝建物400万円）を改正しておらず、施主の費用面での負担軽減対策（例えば、角地の建物は外観延長・面積が多く、工事費が増大する。）を講ずる必要があります。</p>
----------	--

5. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
<p>住民からの要望件数増加に対応できる、財政的措置の拡充が必要です。                  地区内における新築等、即座に対応できる財政的措置も必要です。</p>		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	西村 齋
<p>美濃市美濃町伝統的建造物群保存地区は、観光施策・文化財保護の施策の中核であり、今後継続的に実施していく必要があります。</p>		

今後の方向性	1. 継続	( 1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合 )
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：令和 元 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-38	町並み保存事業		担当課 人づくり文化課
				作成者 川島 誠次
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	62 重要伝統的建造物群保存地区と周辺地区の保全		
	施策名(評価単位)	(38) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	伝統的建造物群保存地区の保存啓発・PRのため、市民団体の育成に努めます。
------------	--------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和元年度)	市民団体「美濃の町並みを愛する会」「町並み案内ボランティア」への活動補助金執行事務等を行いました。 美濃の町並みを愛する会 91千円 町並み案内ボランティア 200千円

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込
① 直接事業費	458,654	892,495	438,120	532,000
② 人件費	1,280,000	1,200,000	1,200,000	1,650,000
③ 合計コスト ①+②	1,738,654	2,092,495	1,638,120	2,182,000
前年度比		120.4%	78.3%	133.2%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,738,654	2,092,495	1,638,120
④ 活動一単位当たりコスト	10,227.4	14,531.2	11,785.0	15,697.8
前年度比		142.1%	81.1%	133.2%
⑤ コストに関する増減理由	令和元年度は、新型コロナウイルスの影響により、年度末に予定されていた事業が中止となったため、各団体の事業費が減少しました。 令和2年度は人件費の見直しによりコストが増加しています。			

(3) 活動指標	指標名	会員数			単位:	人
	指標説明	2つの市民団体の会員数				
		平成29年度実績	平成30年度実績	平成元年度実績	令和2年度見込	
	実績値	170	144	139	139	

4. 評価・課題	会員の高齢化に伴い、会員数が減少傾向にあることから、若者の入会促進のための事業を実施しましたが会員数は減少しました。
----------	--

5. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
町並みを訪れる観光客の、観光時間に合わせた案内コース等のメニューを充実させ、旅行事業者等に積極的に働きかけると同時に、ボランティア育成のための事業拡充が必要であります。		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	西村 斎
美濃市美濃町伝統的建造物群保存地区は、美濃市の観光施策の中心となるものであり、ボランティア育成並びに会員増のため今後も継続して運営補助していく必要があります。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------